

令和7年度 河川研究セミナー

洪水時の堤防損壊を防ぐための技術開発
～河道と堤防を一体として捉えた河川氾濫リスク評価の技術～

日時 令和7年9月4日(木) 13:15～17:30 12:30 受付開始

会場 TKP 秋葉原ガーデンシティ PREMIUM 2階(ホール 2A)
(東京都千代田区外神田 1-7-5 フロントプレイス秋葉原)

河川財団では、河川に関する最新の調査・研究成果や河川の維持管理に関する技術革新など、河川技術の進展についての情報共有を目的として、国土交通省国土政策総合研究所、国立研究開発法人土木研究所や大学などから講師をお招きして「河川研究セミナー」を開催しています。



本セミナーは土木学会 CPD 認定プログラムです。

開催趣旨

近年、洪水による河川構造物の被災が多発しており、特に侵食・洗掘によって堤防損壊などの被災が生じています。侵食・洗掘によって生じる堤防損壊などに対して予防的に対応していくため、侵食・洗掘に関する技術を高めていく必要があります。本セミナーでは、大規模な河床変動に伴う堤防損壊を予防するために必要となる、堤防損壊機構の解析技術や、今後の技術開発・展開を中心に、河道と堤防を一体として捉えた河川氾濫リスク評価について議論します。

プログラム

- 13:15 開会・主催者挨拶 (公財) 河川財団 河川総合研究所 理事長 小俣 篤
- 13:20 河川からの氾濫の起こりやすさ・起こり方に関わる技術検討においては堤防と河道を統合的に捉えることが基本
国立研究開発法人 土木研究所 理事長 藤田 光一
- 13:50 近年の河道災害と対策(仮題) 国土交通省 水管理・国土保全局 治水課 課長 笠井 雅広
- 14:05 河床変動解析による侵食・洗掘予測について 北海道大学 工学研究院 准教授 岩崎 理樹
- 14:35 質疑応答
- 14:45 休憩
- 14:55 河道内樹木の分布状況による堤防への影響度の違い 埼玉大学 理工学研究科 教授 田中 規夫
- 15:25 河道管理の向上を目指した実効的な技術の現場実装支援 (公財) 河川財団 河川総合研究所 主席研究員 鈴木 克尚
- 15:40 堤防の侵食・洗掘による破堤危険度評価手法開発を通して見えてきた技術的課題と今後の展望
名古屋大学 大学院工学研究科 教授 戸田 祐嗣
- 16:10 質疑応答
- 16:20 休憩
- 16:30 総合討論 ～河道と堤防を一体として捉えた河川氾濫リスク評価技術の展望～
[ファシリテーター] (公財) 河川財団 河川総合研究所 所長 天野 邦彦
[パネリスト] 国立研究開発法人 土木研究所 理事長 藤田 光一
北海道大学 工学研究院 准教授 岩崎 理樹
埼玉大学 理工学研究科 教授 田中 規夫
名古屋大学 大学院工学研究科 教授 戸田 祐嗣
- 17:25 閉会・挨拶 (公財) 河川財団 河川総合研究所 所長 天野 邦彦
- 17:30 意見交換会 ※意見交換会に参加ご希望方は、会費としてお一人様 2,000 円のご負担をお願いします。

申込み

下記、URL または 右図 QR コードの「専用受付フォーム」よりお申込みください。

<https://www.kasen.or.jp/tabid951.html>



定員

先着 120 名 ※定員になり次第、受付を終了いたします。

締切

令和7年9月1日(月)

問合せ

河川研究セミナー 事務局 担当：田島・斐 (はい)
E-mail: kasen-entry@kasen.or.jp

個人情報について

個人情報は、本研究発表会の連絡・次回研究発表会のご案内以外には使用いたしません。